

けいはんなから新しい産業を

【寄稿】

科学の夢を子供たちに繋ぐ

公益社団法人 関西経済連合会 けいはんな・産業連携委員会委員長
近畿日本鉄道株式会社 取締役社長 小林 哲也 氏

【知の発信】

皮膚感覚を研ぎ澄まし、天平人の息吹を伝え行く

(独)国立文化財機構奈良文化財研究所・主任研究員 馬場 基 氏

【注目！企業インタビュー】

エレクセル株式会社

入居企業紹介／有限会社 アップル・ワイズ
株式会社 コムサイエンス

【研究所紹介】

大和ハウス工業(株)総合技術研究所

【大学紹介】 同志社大学

【けいはんな歴史と文化】 佐紀古墳群（奈良市）

【広報誌】

Vol. 10

けいはんな View

KEIHANNA New Industry Creation and
Interactive Community Center Information



(財) 関西文化学術研究都市推進機構
関西文化学術研究都市建設推進協議会

特集

インタビュー

「けいはんなから
世界に通じる人材の輩出を目指す」

同志社国際学院初等部・国際部
校長 大迫 弘和 氏





科学の夢を子供たちに繋ぐ

公益社団法人 関西経済連合会 けいはんな・産業連携委員会委員長
近畿日本鉄道株式会社 取締役社長
小林 哲也

けいはんなは、都市建設の本格着手からまもなく四半世紀を迎え、様々な分野で大きな成果を上げています。一方、インフラ整備や都市運営体制など、幾つかの課題も指摘されているところです。この都市に人が住んでいることの価値が十分発揮されていないことも、課題の一つかと考えます。

けいはんなが都市としての魅力・活力を向上させるには、都市の担い手である住民の主体的な関わりが不可欠です。そのためには、この都市になぜ研究機関や先端的企业があるのか、それは自分たちの生活にどのような意味を持つのかなど、けいはんなの都市ビジョンが住民に深く理解され、共有される必要があります。

けいはんなの価値を住民が共有するための取り組みについては、子供の教育を梃子にできるのではないかと考えています。けいはんなが目指すのは、未来を拓く知の創造ですが、その未来を担う主体こそ、今の子供たちだからです。子供たちの理科離れが懸念される昨今、科学に夢を抱き、科学の未来に向けて歩もうと言う子供たちがこの都市から巣立って行けば、けいはんなの日本への貢献は真に多大なものとなるでしょう。

教育を触媒にすることで、各研究機関、あるいは産学の連携の可能性が広がることも期待できます。研究機関相互や産学の交流・連携の難しさはかねてから指摘されているところですが、子供たちの教育への具体的な協働を紐帯にして、研究者間に新しい交流の場が生まれ、実質的な関係が深まるのではないのでしょうか。子供や親との関わり、すなわち現実の生活者との接点が広く深くなることで、新技術による新しい生活スタイルの創造、研究成果を産業化する経路が太くなる効果も生まれるでしょう。住民のすぐそばに様々な「研究現場」があり「研究者」のいることが、けいはんなならではの強みであり、これを教育に上手く活かす方策を検討し、実践することが必要です。

大震災を乗り越えて日本が再生するために、関西が果たすべき役割は大変大きなものです。けいはんなもまた、これまで培ってきた、そしてこれから創出して行く様々な価値を社会に還元し、これからの日本の発展に寄与することが一層強く求められていると思います。

「けいはんなから 世界に通じる人材の輩出を目指す」



同志社国際学院初等部・国際部
校長 大迫 弘和 氏

プロフィール

東京大学文学部卒業

1987-1991年 在英

1999年 千里国際学園中等部・高等部校長

2008年 学校法人千里国際学園学園長

2009年 同志社国際学院設置準備室室長

2011年 同志社国際学院初等部・国際部校長

2011年4月、木津川市木津川台に、「英語で学ぶ」ことにより、「世界に通じる人材の育成」を目指す同志社国際学院（Doshisha International Academy）初等部（以下、DIA初等部）が開校しました。今後、同じ場所に9月に開校する、インターナショナルスクール、同志社国際学院国際部（Doshisha International School, Kyoto 以下、DISK）とも連携しながら、日本初、世界にも類例のない国際教育を行っていくとのこと。学研都市から新たな魅力を発信する取り組みの考え方などについて、同校々長・大迫弘和先生にお話をうかがいました。

DIA初等部、DISK（インターナショナルスクール）に学ぶメリットを教えてください。

これまで日本の教育になかった21世紀型の国際学校として開校しました。従来の日本の教育は、国内で高い評価を得られるものであったとしても、グローバルな社会に出ると脆弱であった部分は否めないと思います。本校は、21世紀のグローバルな世界で生き抜く力を育むところだと考えています。我々の目標は、世界的に高く評価されている国際的なカリキュラム、国際バカロレア（International Baccalaureate 以下、IB）を採用し、教育を行う事です。親御さんには、そうした我が校の教育方針に共感し、大切な子どもさんを是非ここに預けたい、と感じていただくことが、一番大事だと思っています。

5月16日、DISKが、国際バカロレアの候補

校になりました。認定校になるには、インターナショナルバカロレア機構（IBO）の最終審査に通らなくてはならず、今後、実地検査等を受ける必要があるので、1年半くらいかかります。DIA初等部は、学校教育法第一条に基づく一条校として、学習指導要領に基づき教育を行っていますが、2009年8月に、文科省から教育課程特例校として指定されていますので、日本の学習指導要領の内容を部分的に英語で行うことができます。また、暗記型の学習ではなく、IBの仕組みを取り入れた探究型を導入し、日本の学習指導要領の内容を学びます。これは日本で初めての試みとなりますので、日本の一般の学校とはまったく違った教え方になっています。教え方も一般の学校とは全く違うので、先生方も大変ですが、子ども達の反応が良ければ大きな励みになります。



このようなインターナショナルスクールが、けいはんな学研都市に存在することの必要性、重要性について、お考えをお聞かせいただけますでしょうか？

我々は、けいはんな学研都市地域の繁栄のためにこの地に開校させていただいたと考えています。関西経済全体の活性化という意味も含めて。日本を代表する画期的な国際学校がここにあるということは、地域活性化という意味でも、必ず役に立ちます。また、それ以上に教育界からの注目度も非常に高いですから、日本中から注目される地域の一つということになりますね。

初等教育レベルでの国際教育は中・高レベルの国際教育とは本質的に違います。日本には、初等教育レベルでの国際教育のモデルがなかったので、私のこれまでの経験を生かし、初等ではできない教育を行い、21世紀型のモデルをここで作らなくちゃいけない、と強く思っています。

学校運営との関係で、学研都市についてのご評価、ご感想についてお教えてください。

今回の開校は、すでにある種のコミュニティができている場所に学校をつくったわけではありません。学校というのは街の基本的なインフラですから、ここにこの学校ができた事によって、これからこの場所に新しい国際的なコミュニティが形成されていくはずですし、そうしなければならない。そこを関係機関の皆さんにもお考えいただきたい。ロンドン北部にあった日本人学校の例で言うと、学校が西部に移ったことにより、日本人のコミュニティが、学校の移転と共に西部へ移ることがありました。これも学校が持っている力なのですね。もちろん、いい学校でないといけません。本校をキーにして、(財)関西文化学術研究都市推進機構さん等と協力しながら、現状の学研都市の街づくりの新たなきっかけになりたい、と心から思っています。是非、学研都市も、ここで勝負に出ていただきたい、と思いますね。我々は、大学や研究機関におられる外国人研究者、そのお子様がこちらに着目いただけるよう、また、国際的コミュニティがこの場に構築できるよう、教育の場からアクションを起こしていきます。ですから、産業界の皆さんは、どんな戦略をもって、これからこの地域を活性化させていくのか、逆に私から聞きたい。インターナショナルスクールという基盤を使って、どういう手を打っていくのか、また、我々をどう使っていくのか――

将来的には地域の学校との交流も考えておられるようですが、どのような方向で行われますか。

従来何処の国でも、インターナショナルスクールは、陸の孤島のような部分が有って、他のインターナショナルスクール同士との交流に終始しがちでした。それだけでは狭い世界ですから、本来の日本の学校との付き合いも大事だと考えています。その意味で、地域の学校との交流も視野に入れています。木津川市の河井市長さんには、設立当初から温かい目で見守っていただいております。木津川市の学校の先生方も、交流を望んでおられますので、文化的な交流も含めて、こちらに余裕ができれば是非と考えています。

英語教育が強いというイメージはありますが、まずは、しっかりと日本語を教えていく。日本にいながら日本語が不安定になるなんてありえない、と思います。そうした日本語の上に英語を乗せるといった感じで、DIA初等部の子ども達には、きれいな日本語を話してほしいと思っています。

インターナショナルスクールだからといって、別世界という扱いではなくて、地域の人たちから、温かく、愛される学校として、地域に育ててもらおう学校という姿勢を大事にしていきたいと思っています。



D1SKについてですが、同じ学校で12年教えるということに難しさはありませんか。

12年という教育期間を持っていますが、実際は、外国人の研究者や大学の先生は長くて2年くらいで国に帰られることが多いです。海外からの方は、平均5年くらいで国に帰るケース

が多いですね。ただ、外国から帰国した子が入学し、そのまま残って、長く過ごすケースもあります。

我々同志社は、幼・小・中・高・大、長い場合、大学院までの一貫教育を提供しています。同志社教育を長く、じっくりと実践していく、人格形成をしていくという部分は、同志社大学の創設者 新島 襄の理念には適っていると考えています。

DISKと、他のインターナショナルスクールとの違いをお教え下さい。

DISKの低学年は、ジョイントラーニングといって、音楽・図画工作・体育の実技授業については、DIA初等部と共に学び、日常的に関わりを持つこととなります。また、同志社大学は、136年の歴史を持っていますが、そのような背景をもったインターナショナルスクールは珍しいですね。インターナショナルスクール自体は120年くらいの歴史がありますが、これまでのものは、その国における一種「外国」だった。DISKは、それとは違い、地元や日本との繋がった、21世紀に求められるインターナショナルスクールの在り方を模索し、世界に発信していくところにしたいと考えています。

勉学は、暗記型より探究型を目指すという事ですが、その辺の兼ね合いが実は案外難しい、と感じています。

それは、最も多く受ける質問の一つです。インターナショナルスクールだからといって、基礎をやらないわけではないですよ。「暗記型の勉強だけで終わっている」から駄目なんだと思います。探究型の勉強をしていくにも、基礎的な部分は、必ず必要です。当然、漢字の書き取り

もしますし、四則演算もちゃんとやります。そうした基礎をしっかりとやったうえで、探究型を乗せていく形ですので、よく「基礎学習はやらないのか」って聞かれますけど、それは、ちゃんとやっていきます。

ここまでのご準備も相当大変だったと存じますが、差し支えない範囲でご苦労された点をお話しいただけますか？

新しいものを作るのは容易いことではないですね。先行例がないわけですから、これまでの経験があっても簡単なことではないです。難しさを覚悟の上で臨んでいるわけなので、やりぬくしかないのですが、最後は、チームワークですね。それがないとできないことです。また、同志社にとっても新しい試みでしたので、何としても成功させたいと思ってやってきました。

新しいものを作る作業は、映画監督みたいなイメージでしょうか。役者は子ども達。様々な人たちの力や個性が重なって一つの作品を作っていく感じですね。役者＝子ども達が輝けるように…それができたらいい作品になるのではうね。

最後に、我々は、ここけいはんな学研都市にインターナショナルスクールを創立しました。今後も、学研都市の街づくりに何らかのお役にたてればと思っています。打ち上げ花火的に何かをやるのではなく、この街の活性化に向けたシナリオに、是非、この学校を活用していただければと思っています。

<取材後記>

・けいはんな学研都市には、国に大学日本一の評価を得た奈良先端科学技術大学院大学があり、世界的レベルの研究所も数多くあります。そうしたなか、DIA初等部とDISKは、IBの世界標準を目指しています。

・世界に例のない新たな学校をつくるための、情熱とご苦労は想像するに余りあります。けいはんな学研都市のそうした取り組みが、真に活きるよう、我々も地道な努力を重ねなければならない、心からそう感じた次第です。



皮膚感覚を研ぎ澄まし、天平人の息吹を伝え行く

今回のけいはんな学研都市「知の発信」は、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・主任研究員、馬場基（はじめ）先生をご紹介します。ご著書「平城京に暮らす」では、平城京宮跡等における木簡研究をされるなかから、当時の人々の生活はもとより、天平人氣質に至るまで、まさに「皮膚感覚」を交え、生き生きと描かれています。その斬新さ、ご説明の分かり易さもあって、本年1月7日放送の人気番組、「探偵ナイトスクープ=レイテ島からのハガキ編」にもご出演され、インターネット上に種々話題を提供されています。今般、そうした先生の様々な思いをうかがってまいりました。



（独）国立文化財機構 奈良文化財研究所
主任研究員 馬場 基氏

プロフィール

1972年、東京都に生まれる。1995年、東京大学文学部卒業。2000年、東京大学大学院博士課程中退。現在、奈良文化財研究所都城発掘調査部主任研究員 主な著書「平城京に暮らす」「駅と伝と伝馬の構造」「都市」平城京の多様性と限界」「上咋麻呂状と奈良時代の官人社会」

から、この地では、驚くほど貴重なお寺や文化遺産が、普通に身近に存在しています。これも東京では絶対にあり得ません。私の先祖は奈良に住んでいたようで、何かご縁が有るのかもしれませんが。また、奈良県職員の方に聞いた話ですが、「奈良県には食用植物の害虫が少なく、農薬散布の必要が少ない。また、奈良にはめったに台風が来ない」そうで、ここが王城の地に選ばれた理由は、この辺りかもしれない、とも思います。

古代史への興味はどういうことからだったのでしょうか。

「日本」の名称が生まれたのは、大宝元年、遣唐使粟田真人*1が唐に対して唱えた時、と言われています。それまでは「倭」といった怪しげな呼び方をされていた国が、突然、「日の本」という意味の大層な名称を唱えたことも、当時の常識からすれば大胆極まりなく、しかも中国にも何とかそれを通してしまった。その一方、黎明期だけに、結構、失敗もしている。初めて国として纏まったことを開始した。しかし、それまでの伝統もある。どう折合いを付けるのか、どうしたら良いか、判断に迷っていました。国の青春時代とも言える研究対象として興味深い時代ですね。

はじめに――

奈良県で働かれ（奈良市）、またお暮しになって（生駒市）、特に感じられたことはございますか。

奈良は、まさに歴史の本場という感じです。ちょっとした街角の地名が、歴史の舞台、それも50年100年でできない、1200～1300年前のドラマの舞台だったりする。そんな意味で、京都や奈良は、日本の他の地域とは違いますね。それ

*1 粟田真人…飛鳥時代後期～奈良時代の貴族、遣唐使。生年不明。702年6月、大宝律令を携えて唐へ渡った。白村江の戦い以来初の本格的な使節派遣であり、国交回復の意味を持つ遣使であると同時に、律令制度の整備や、倭から日本への国号変更の通達など、様々な目的を持った使節だった。同遣唐使には山上憶良らも加わっている。703年、都の長安に到着、武則天に謁見した。唐人からは「好く経史を読み、属文を解し、容止温雅なり」と評された。武則天からは司膳員外郎に任ぜられた。

木簡研究から——

木簡は何時頃から使われ、どう広まったのでしょうか。そこから見えるものは、いわゆる正史とは違う生の歴史、ということでしょうか。

現在見つかった最も古い木簡は、7世紀の半ば650年頃のもので、最も多くの木簡は7世紀の終わりから8世紀、奈良時代に爆発的に増えて来ます。国の近代化を進めるなか、いきなり制度だけが出来ても、どうやって動かすか、どう機能させるかが肝心です。そうした運用のために、木簡を使いながら仕事をする必要があって、木簡が沢山使われました。逆に木簡が減ってくるのは、紙が使いやすくなったから等の影響だと思えます。実際に木簡を最も多く使った人々は、現場第一線に近い官僚達で、いわば「生もの」の木簡を解読すると、彼らの動きが見えて来ます。

木簡研究にける時間やご苦労などは、どのようなものでしょうか。

一般に、発掘現場に居る時間は、年に3〜4か月程のことが多いです。発掘現場は、画期的な発見が出て来るような華々しいものではなく、単調な作業の繰り返しです。身体的なしんどさは、季節的な寒暖などがありますし、精神的には遺跡に向かい合う緊張感があります。また、発掘済み木簡の整理、保管状況の確認等に2〜3か月以上、その他にも作成メモの纏めや、木簡に関する問い合わせの対応、予算申請といった仕事もあります。

実は、木簡に直接触れない作業をしている時などに、意外と重要な思い付きに至ることがあります。日々資料に接していることで、感覚は研ぎ澄まされて行くのですが、その様々な思いの結実は、



むしろ、他の作業をしているときに湧き出て来るのかもしれませんが。

木簡は「生もの」ですので、古代の様子を直接伝えてくれる魅力があります。ですが、だからこそ逆に、心しなければならぬことは、「生もの」でオーソライズされていない木簡に書かれていることは、「雑多」であるということです。例えば、「荷札」に「伊豆の鰹」と書いてある。「黒潮に近い地域だし、細かな場所まで書かれているから、これは確かだろうと思ったが、念のため、記載された港の地名を調べると深い山中だった」とか。そんな記載に「騙されない」ためには、木簡が書かれた背景等をしっかり確認しておかなければなりません。

歴史学は科学です。科学ですから、誰が検討しても同じ結論にならなければなりません。そこで、守るべきルールや手続きが沢山有ります。論文等の作成においては、そうしたルールに従うことになります。しかし、そうしたルールや手続きがそのまま記された文章は、残念ながら、多分、一般の人達が読んでも、詰まらない物になりがちです。では、ルールや手続きの記載を省略するとどうなるかということ、つい手続きの記載を怠るだけでなく、手続きそのものを怠ってしまいがちです。こうなると、「トンデモ本」と呼ばれる、学問的に問題の多いものになってしまいます。私は、学問的な論文もしっかり書いていきたいのはもちろんですが、同時に多くの方に歴史の世界の魅力をお伝えしたいとも思いますので、証拠を全て押さえつつ、面白く読んでいただける文章も書きたいと思っています。

歴史研究について——

今後、歴史をどのようにお伝えになりたいとお考えですか。

学問的に言って「歴史学の対象」とは何か？ 人類の行為です。従って、恐竜は歴史学の対象にはならない。しかし、恐竜に襲われた人の話は、歴史学の対象です。ただ、「人類」の範囲に決まりはないので、誰でも良い。その意味で、色々な歴史学が有りうるのです。そうしたなか、つくづく歴史小説家は凄いと思います。歴史小説を読んでいると、あたかもその時代のその町の中で、人々

の声や衣擦れの音、生活の匂いまで伝わってくるような気がします。文章で空気を伝える皮膚感覚の見事さは、「驚き」の一語に尽きます。歴史を研究し始めた頃、私にとって木簡は、研究材料でしかありませんでした。木簡をネタに、新たな歴史学説を打ち立てたいなどという思いもなかったわけではありません。でも、そういう目で見ている時は、木簡がつまらなかった。

しかし、あるとき、変化が訪れたのです。木簡も「もうちょっと上手に削って欲しかったんじゃないか」とか、「もっと上手い字を書いて欲しかったのでは」とか、あるいは、「こんなに沢山文章を書かされると、当時の役人もつまらなかったんじゃないか」とか、そこに一人ひとりの人生が積み上がって歴史が出来ている。学問として追う歴史と、皮膚感覚で掴む歴史を円滑に融合させることはできないものかと。そのように考え出すと木簡の見方が変わって来ましたね。さらに言うと、藤原麻呂などは、一緒に飲んだら楽しそうで、一献差し上げたくるけれど、藤原仲麻呂の方ならば、説教されそうで、つまらないじゃないか、とか…。

今のお話から、先般、奈良先端科学技術大学院大学で、細胞生物学の世界最先端研究をされている先生の取材を行ったとき、「研究は、理論を突き詰めて行くのだけれど、最後に大事なものは感性であり、この感性に関しては絶対に誰にも負けない」とうかがったことを思い出しました。学問のトップの世界では、細胞生物学でも歴史学でも理屈を突き詰めながら、最後に感性が大切になってくる場所は同じなのかな、と大変興味深く感じました。

私の「感性」レベルで申し上げますと、奈良時代の、新しい技術や文化を受け入れたチャレンジングな姿勢には、現代も学ぶべき部分があるし、万葉集に見る人間感情の発露を、大らかな気運を示すものと思っていましたが、奈良時代は、暗殺も多く、非情な時代と受け止められる方々が多数派のようですね。

奈良時代というのは、いろいろなことが、まだ未成熟だったため、様々な側面を持っているのではないかと思います。残酷な処置も感情の発露も、

そういう視点から観た方が納得出来るのではないのでしょうか。沢山の試行錯誤があったから、興味深い時代なのだと思います。

ただ、それにしても不思議に思うのは、長屋王^{*2}の扱いですね。正史である「続日本紀」でさえ、誣告であったことを認めているのに、長屋王は名誉回復されていない。証拠がないので、断定できませんが、怨霊とか様々な事情があるかもしれません。やや後の時代の大臣家持と早良親王^{*3}の場合は、名誉回復しているのに、何故か奈良時代の政治犯は名誉回復していませんね。

先生が影響を受けられた先生方はどなたになりますか。

まず、佐藤信先生（東京大学大学院人文社会系研究科教授）です。学生時代の私の指導教官です。ご自身も奈良文化財研究所のご出身で、遺跡と向き合いながら、種々な考え方を話していただきましたし、「お寺に行ったら、まず、手を合わせて拝みなさい」とも教わりました。「古人から残された宝物に敬意を払って接する。そこからスター

*2 長屋王…（684? - 729年）奈良時代の皇族、公卿。父は天武天皇の皇子の市皇子、母は天智天皇の皇女の御名部皇女。正二位左大臣。皇親勢力の巨頭として政界の重鎮となったが、その権勢は藤原氏にとっては面白くないものであった。対立する藤原氏の陰謀とされる長屋王の変により自害した。（729年、漆部君足と中臣宮処東人から「長屋王は密かに左道を学んで国家を傾けんと欲す。」と密告があり、それを受け、六衛府の軍勢が長屋王の邸宅を包囲、舎人親王などによる糾問の結果、長屋王はその妃吉備内親王と子の膳夫王らを縊り殺し服毒自殺）。1988年、奈良時代の広大な貴族邸が大量の木簡とともに発掘され、長屋王邸は平城京内東南角にあったことが判明した。

*3 大臣家持と早良親王…長岡京の造営工事が始まった翌年の785年、造営の最高責任者であった藤原種継が、桓武天皇の留守中に暗殺された。当時、新興貴族の藤原氏と、旧勢力の大臣家持一族が反目。また、皇室にも桓武天皇の子安殿親王と、光仁天皇（桓武天皇の父）の遺志で皇太子に立てられた早良親王（桓武天皇の弟）との、皇位継承の問題が微妙な時だった。種継の暗殺を知り長岡に戻った桓武天皇は、徹底的に追求。反目勢力の大臣継人の仕業と知り、首謀者継人をはじめ、関係者数十人を一日で処刑した。さらに、これらの事件に関与したとして早良親王も捕らえた。親王は、ひとことの弁明も出来ないまま、乙訓寺に幽閉された。親王が関わっていたかは不明だが、親王の居所、春宮坊（とうぐうぼう）に反桓武勢力が入り込んでいたのは確からしい。乙訓寺に幽閉された早良親王は、一切の飲食を拒み無実を訴え、淡路島へ配流される途中で餓死した。絶食して、自ら命を絶つほどに親王の無念さが伺える。この事件の後、安殿親王（後の平城天皇）が皇太子の地位についた。早良親王を廃したことは、桓武天皇個人にも心の負担となり、怨霊に神経をすり減らすこととなる。

トするのだ」と。今になってつくづく強く影響を受けていると感じています。その他、この研究所に来てからも、色々と教わりました。舘野和己先生（奈良女子大学文学部教授）からは、「人に分かるように話をせよ」と口酸っぱく言われ、大変勉強になりました。著書として圧倒されるのは故青木和夫先生の『奈良の都』ですね。つい最新の発見と思われる内容を、二行位でさらっと書いておられ、「青木先生は、ずっと昔に知っておられたのだ」と驚きました。凄い本です。

奈文研に来て大事な経験が出来たと思います。ここに来ないと、皮膚感覚で「現地で過去の人々としっかり向き合おう」とは思わなかったかもしれません。そうすると、青木先生のすばらしさに改めて圧倒されることも、佐藤先生の教えが血肉になることも、舘野さんに多くの方に語る必要性をたたき込まれることもなかったわけですから。



最後に――

奈良文化財研究所の使命とは何だと思われますか。

我々の研究対象は、先祖から預かった、古人、現在の人々、未来の全ての人々の財産なのです。これを受け継いでいくことが大切であると思っています。そして奈文研は、この奈良の文化財を受け継ぐ仕事だけではなく、全国の中心拠点として、日本やさらには世界の文化遺産のために、仕事をしなければならないと思います。直接研究や保存を行うこと以外にも、人材育成や技術開発なども積極的に進めていかなければなりません。最近では、データベースやGIS・3Dといった最新技

術をどのように受け止めて活用していくか、ということも重要な研究課題となってきたんですよ。

歴史は、途切れさせた瞬間に消えてなくなってしまいます。誰かが、たとえ細くとも、それを受け継いで学び伝えて行くことが何より大切だと思います。



絵 さいとうあやこ©

<取材後記>

- ・ けいはんな学研都市には、世界の最先端を追求する科学技術は勿論、古代史を扱っても世界レベルの奈良文化財研究所が有る。これが「文化学術」研究都市たるの由縁です。
- ・ けいはんな得意のIT等の最新技術を、どこかで古代史研究の課題の解消に結び付けることはできないだろうか？ 今回うかがった限りでは、微妙に交わらぬ漸近線のように感じましたが、どこかに接点が見えたとき、それこそが「けいはんな」発展の二段ロケット点火の好機であり、その可能性は探り続けなければならない、と心から思った次第です。



エレクセル株式会社

代表取締役社長 河野 通之 氏



〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1丁目7番地
けいはんなプラザ ラボ棟13階
TEL 0774-98-2673
FAX 0774-98-2675
E-mail m-kono@dks-web.co.jp

次世代エネルギーとして、世界からの注目を集めている日本の電池技術。特に、関西にはリチウムイオン蓄電池の関連企業が集積し、日本を代表する産業クラスターが形成されている。2006年経済産業省の「次世代自動車用電池の将来に向けた提言」でまとめられた「電池の性能とコストを2015年までに1.5倍と1/7倍、2020年までに3倍と1/10倍にする」という目標達成に向けて、先進的・革新的リチウムイオン蓄電池の研究開発が進められている。

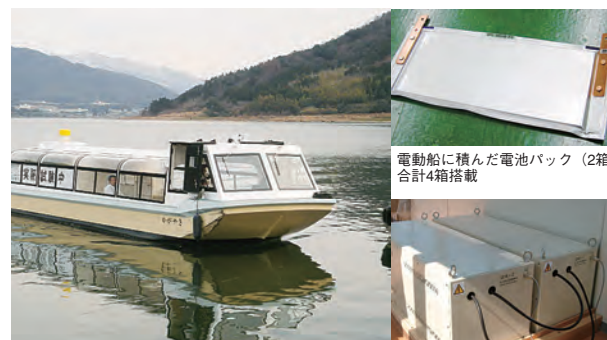
リチウムイオン電池は、貯蔵エネルギー量が大きい割に、軽くて小さい。また、充電すれば繰り返し使うことができるというメリットがある。ただ、コストがかさむうえ、可燃性の高い液体や・酸化性の高い部材を使うため、安全性に不安が残る。最近では、パソコンや携帯電話等の小型のものばかりではなく、電気自動車など人を乗せる大型の乗り物を動かせる電源として、大容量、小型化、安全性が求められている。

エレクセル株式会社は、第一工業製薬株式会社のグループ会社として、2002年に創業し、リチウム電池・太陽電池の研究開発・生産を手掛けている。現在、社員数は9名。2011年4月に事務所を移転し、けいはんなプラザのラボ棟とスーパーラボ棟で、月に約1,000個製造できる能力を有している。エレクセルは、1990年頃から、リチウム電池の研究を進めており、より高度の安全性を目指した電池設計と製造及び各構成材料の評価を行っている。新技術として、鉄系正

極材料やポリマー電解質、イオン液体を材料として電池のコスト削減・安全性・寿命の向上を目指している。

2007年にはNEDOの「次世代自動車用高性能蓄電システムの技術開発」プロジェクトに採択され、さらに2009年7月には経済産業省の低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業―電池駆動船を用いた若狭三方五湖における実証モデル事業―に採択された。前者のプロジェクトは5年間で、イオン液体を用いた高性能電池を作ろうとするものである。後者のプロジェクトでは、ラムサール条約指定湿地に登録されている福井県の三方五湖で、エレクセルが開発した電池を用いて、電池駆動船舶を走らせ、ディーゼルエンジンがもたらすCO₂排出量の大幅削減を目指す実証実験を行った。

また、昭和飛行機工業(株)、三井造船(株)、エレクセル(株)、(株)電源設計、早稲田大学と協同で、非接触給電装置 (IPS: Inductive Power



電動船

電動船に積んだ電池パック (2箱 合計4箱搭載)

電動船用セル 上記一箱に150枚、船全体で600セル搭載

Supply)を備えた電気自動車の開発にも、取り組んでいる。これは、非接触で給電するシステムを導入した電気自動車で、高頻度の急速充電を可能にすることで、電池容量を必要最小限に抑え、電費の向上と低コスト化を実現したことが売り。今後は、公道の走行を目指し、カーシェアリングや、IPSが設置しやすい工場など、広大な敷地内を移動する乗り物として、実用化に向けた動きを考えている。

これらの自主的研究・開発事業の他に、電池部材・素材の受託研究や、開発用プロトタイプ電池の少量生産も行っている。これまでのエレクトセル(株)の技術蓄積を基に、第一工業製薬(株)は2005年に中国などで量産されている、電動自転車用の電池製造工場を設立した。この量産技術をベースにした素材評価技術により、電池メー



非接触給電式EV車
「ちょビット充電車」



非接触給電式EV車
ちょビット充電車に積んだセル(80枚)

カーにアピールできるデータを提供している。

今後は、研究開発だけで終わるのではなく、事業拡大のステップとして、量産型の電池メーカーを目指している。大手企業は、自社グループのなかで生産・調達を一貫するビジネスモデルを構築しているため、同社は開発した新技術と培った製造技術を武器に、どの分野の電池事業に進出するかを模索しているところ。「決算書類を眺めているより、技術開発や新規用途を考えることの方がはるかに楽しい」と河野社長。これからも安全性、耐久性、コスト削減を追求した研究を進めたいとしている。

けいはんな学研都市が国の「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に選定されたこともあって、是非、環境エネルギー産業の創出プロジェクトに参画していきたい」と期待を寄せている。7月21日(木)に開催するけいはんなビジネスメッセは、今年初めての出展機会となる。「電池はすり合わせ技術。メッセでは、いろんな企業と接触し、コラボできるチャンスを作りたい」と意気込む。

京都府けいはんな
ベンチャーセンター

学研都市から羽ばたけ 輝くベンチャー



有限会社 アップル・ワイズ



代 表: 針原 雄四郎
所在地: 〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1-7
けいはんなプラザ ラボ棟4階
TEL: 0774-76-4708
FAX: 0774-76-4197
mail: bio@applewise.co.jp
URL: http://applewise.co.jp

1.同志社大学D-eggで、コーチングサポート付e-ラーニング教材の販売。パナソニック様、三洋電機様、シャープ様他大手企業様の社員教育用に採用頂いています。2.けいはんなプラザで、a.北山杉樹皮に棲みつくる有機質分解する微生物(畜糞の消臭剤)の培養研究とb.北山杉から抽出した環境配慮型消臭剤Bio-Tを製造(製法特許出願)をしています。消臭剤Bio-Tをベースに悪臭を消してアロマの香りを引き立たせる古都呼吸COTO COCUEシリーズを発売。北山の里を舞台にした川端康成の小説「古都」をイメージして作った新しい感覚の消臭剤です。自然派でLOHASなあなた、アロマが好きなあなた、京都が好きなあなたにどうぞ。



古都呼吸

検索

株式会社 コムサイエンス



代 表: 池田 浩志
所在地: 〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1-7
けいはんなプラザ ラボ棟6階
TEL: 0774-95-5182
FAX: 0774-95-5183
Mail: ikeda@comscience.jp
URL: http://www.comscience.jp

プラスチック光ファイバによるネットワーク機器を提供

高精細ディスプレイさらには3Dディスプレイと大容量の高速映像伝送技術の普及が家庭内のLAN環境にも求められる今日、当社は超高速伝送を簡単施工と高い安全性で実現するPOF(プラスチック光ファイバ)応用機器の製品化と販売に取り組んでいます。

プラスチック光ファイバが作る「Face-to-Faceコミュニケーション産業」の一翼を担う物づくりとサービスの提供を行って参ります。

【取扱製品】

- ・GI-POF (GINOVER:積水化学工業) 応用機器、POFパッチコード
- ・POFプラグレス接続器 (OptoLock:Firecomms, COMOSS) 応用機器
- ・IEEE-1394b, USB3.0 コネクタ・ケーブル



GI-POFとHDMI
1エクステンダー

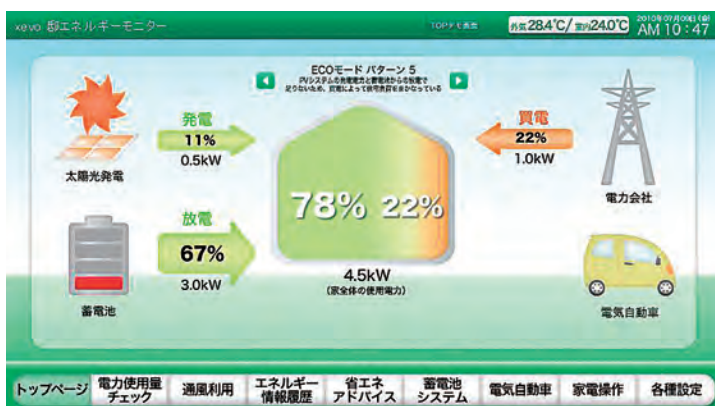


100Mbpsプラグレス
POFハブ

けいはんな学研都市 ならやま研究パーク 大和ハウス工業(株) 総合技術研究所を訪問しました。

大和ハウス工業(株)総合技術研究所にある実験住宅の中では、ITを使って家庭の消費電力を制御するスマートハウスの普及に向けた取り組みが進んでいます。2009年度には、簡単な命令で、異なるメーカーの家電製品や設備機器を一元的に制御できる新たなソフトウェア「住宅API」を開発し、それを評価すべく実証実験*がおこなわれました。また、2010年度には、スマートメーターや太陽光発電、蓄電池を接続し、エネルギーの需要と供給の情報を活用することにより、住宅のエネルギー消費を最適に制御できる可能性について実証*を行いました。「今後、スマートハウスシステムを導入した住宅は、ごく当たり前になってくる。我々は、電力消費の状況を住む人にわかりやすく提供するだけでなく、防犯や健康見守りといったサービスを充実させ、より良い住宅環境を提供していきたい」と開発担当の吉田主任研究員。

* 経済産業省平成21年度委託事業「スマートハウス実証プロジェクト」、平成22年度「地域エネルギーマネジメントシステム開発事業」



お問い合わせ先
大和ハウス(株)総合技術研究所
Tel:0742-70-2111
URL:www.daiwahouse.co.jp/lab

大和リース(株)が創業50周年記念として、2011年1月にプロトタイプを完成させた緊急災害救援ユニット「EDV-01」は、災害発生直後の最前線基地として、今後の活用が期待されています。突然訪れる大震災に、対応できるものは何か。仮設・プレハブ建築で培った技術と社会貢献にける思いを注ぎ込み研究・開発した、「EDV-01」は、様々なインフラが使用不能という過酷な状況にある被災地でも、電気・水・通信などのライフラインを自給し、大人2人が1か月程度活動できます。あらゆる手段による運搬が可能で、5分程度で2階建てに変化。「東日本大震災以降、たくさんのお問合せをいただいております。今後、関係する皆様方の声を参考に改良を加え、実用化を目指して行きたい」と、開発担当者の藤本さん。



お問い合わせ先
大和リース(株)広報販促室 広報課
Tel:06-6942-8068
URL:www.daiwalease.co.jp/edv-01/

同志社大学

けいはんな学研都市の6大学（奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、大阪国際大学）を順に紹介します。

「語学」「人間」「情報」「先端技術」の教育研究を 京田辺キャンパスにて展開

新島襄は、1875年に同志社英学校を創立しました。以来130余年にわたって、同志社大学は「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」という3つの教育理念をもとに、「良心を手腕に運用する人物」の育成に努めてきました。

同志社大学では、大きく今出川、京田辺といった2つのキャンパスにおいて時代のニーズに沿った積極的な教育改革を進めています。

現在今出川キャンパスでは、キャンパスの教育研究基盤整備に着手しています。

京田辺キャンパスでは、2008年に生命医科学部とスポーツ健康科学部を開設し、既存の工学部は改組・再編により理工学部となり、2009年には心理学部を開設しました。大学院各研究科でも新設・改組を行っています。また、2009年の国際化拠点整備事業（グローバル30）採択が教育の国際化への牽引となることで、本年4月には、国際舞台でグローバルな活動に貢献できる人物の育成を目指す、グローバル・コミュニケーション学部を開設しました。こうしたキャンパスの国際化推進のみならず、既存学部の外国語教育強化などにも努め、その効果に期待しています。さらに、2012年には、世界的なリーダーを育成する「リーディング大学院」を視野に入れ、人間科学の中でも特に脳科学を重点化し、先端的な応用研究において世界水準の研究をめざした脳科学研究科を新たに開設

する予定です。他方研究においては、文系・理系の両分野での研究推進体制の強化を図っています。多様な領域において研究センターを開設するとともに、寄付教育研究プロジェクトや受託・共同研究などの産学連携活動も幅広く進めています。このように京田辺キャンパスでは、「語学」「人間」「情報」「先端技術」を教育研究の重点的なテーマとし、理系及び文理融合の一大教育研究拠点となっております。

今後とも、同志社大学は、将来における発展を引き続き実現していくため、「建学の精神」や「教育理念」に基づいた大学改革を進め、有為な人材の育成に努めてまいります。



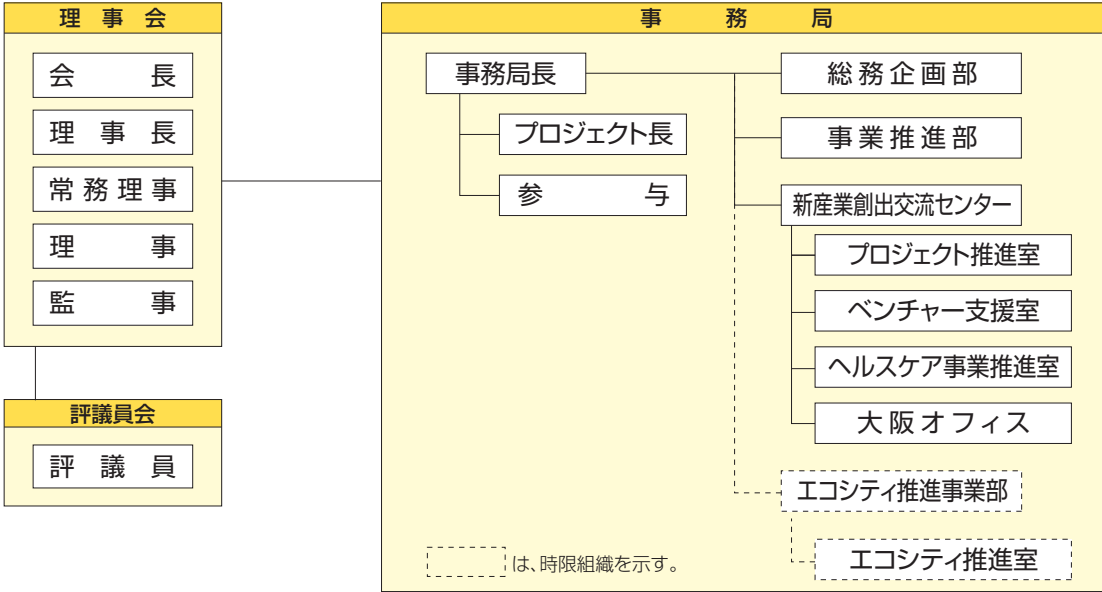
財団法人関西文化学術研究都市推進機構の新役員体制

当機構の評議員会、理事会が6月23日（木）に開催され、会長が下妻博から森詳介に、理事長が矢嶋英敏から柏原康夫に変更となりました。なお、今回の役員交替は、5月23日付の公益社団法人関西経済連合会の役員交替などに伴うものです。

平成23年6月23日付 役員体制

会 長	森 詳 介	公益社団法人関西経済連合会会長
理 事 長	柏 原 康 夫	公益社団法人関西経済連合会副会長
常務理事	稲 田 進	
理 事	伊 藤 滋	早稲田大学特命教授
理 事	井 村 裕 夫	京都大学名誉教授
理 事	山 田 啓 二	京都府知事
理 事	橋 下 徹	大阪府知事
理 事	荒 井 正 吾	奈良県知事
理 事	立 石 義 雄	京都商工会議所会頭
理 事	佐 藤 茂 雄	大阪商工会議所会頭
理 事	西 口 廣 宗	奈良商工会議所会頭
理 事	松 下 正 幸	パナソニック株式会社代表取締役副会長
理 事	辻 井 昭 雄	近畿日本鉄道株式会社相談役
理 事	鳥 井 信 吾	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副社長
理 事	國 部 毅	社団法人大阪銀行協会会長
理 事	小 川 忠 男	独立行政法人都市再生機構理事長
理 事	二 宮 清	ダイキン工業株式会社嘱託
監 事	高 崎 秀 夫	社団法人京都銀行協会会長
監 事	田 中 敏 彦	奈良県地域振興部長

財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 組織図



けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 第10回総会開催

5月31日（火）けいはんなプラザにおいて、第10回目となる「けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会」総会が開催されました。

冒頭、本会議の松下正幸理事長（けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会会長）が開会のご挨拶をされました。そのなかでは、現在けいはんな学研都市で実施されている「次世代エネルギー・社会システム実証」において技術検討されている「エネルギーの情報化ワーキンググループ」等、産学連携による研究開発の紹介や、東日本大震災を踏まえ、BCP（事業継続計画）の観点から、災害に強い情報通信インフラ、産業インフラを検討し、リスクマネジメントを強化することの重要性などについて取り上げられました。

その後、運営・研究部会や分科会の活動報告、同協議会事務局である独立行政法人情報通信研究機構（NICT）の新中期計画の発表を行なった後、各議案審議をいただきました。

最後に、株式会社はてな 代表取締役社長 近藤淳也氏から「はてなの生き立ちとウェブコミュニティの未来」と題し、特別講演を頂きました。

当日は、協議会役員、大学会員、一般会員等75名の参加がありました。

奈良朱雀高等学校がけいはんな学研都市を社会見学

6月6日（月）奈良県立奈良朱雀高等学校（奈良市）の建築工学科1年生の生徒さん40名、教員2名の皆さんが、けいはんなプラザ（精華町）と積水ハウス総合住宅研究所（木津川市）を社会見学されました。

同学科では、より実践的な教材を学校外の場に求めることにより、実際の建築物における先端技術に触れさせることをねらいとして、社会見学会を实际されており、今回は快適創造空間（アメニティ）や情報化、地球環境保全に対応した最先端技術を学ぶため、本都市が対象に選ばれたとのこと。

けいはんなプラザでは、（財）関西文化学術研究都市推進機構の藤原部長が、けいはんな学研都市の概要や最近の取り組みなどについて説明を行い、13階の展望スペースから都市の建設状況やけいはんなプラザに設置された太陽光発電パネルなどを見学しました。

積水ハウス総合住宅研究所では、体験型展示施設「納得工房」を見学し、環境に配慮した快適な住いのあり方を、五感全体を使って体験されました。



けいはんな環境・エネルギー研究会について

平成20年度に設立した、「けいはんな環境・エネルギー研究会」は、「エネルギー自立（自律）の地域づくり」をテーマに、研究会活動等を重ねるとともに、新産業創出に向けたプロジェクト創出を進めてまいりました。一方、この度の未曾有の大震災は、東日本のみならず、日本の社会、経済に大きな困難をもたらしており、環境・エネルギー問題をはじめ、産業、社会や個々人の生活スタイルに至るまで、様々な側面において、そのあり方が問われていると考えます。



そこで、本年度の「けいはんな環境・エネルギー研究会」では、「東日本大震災後の情勢変化を踏まえた新たな地域づくりと産業の創出」を基本テーマに据え、研究会活動を展開することとなりました。

その第一歩として、6月1日（木）午後1時30分から、けいはんなプラザにおいて、23年度第1回のけいはんな環境・エネルギー研究会「けいはんなからの東日本大震災被災地復旧・復興支援—けいはんな学研都市は、被災地の苦しみと共に—」を開催し、産学公等幅広い分野から、会場いっぱいの40名を上回る方々の参加をいただきました。

当日は、（株）地域計画建築研究所（アルパック）杉原五郎社長から、「東日本大震災の特徴と復旧・復興まちづくりの課題」に関する報告をいただき、同志社大学理工学部千田二郎教授から「都市廃棄物エネルギー転換による都市エネルギー構造変化」をテーマとした講演、一般社団法人けいはんなイーパワーの三宅代表理事からの「過熱水蒸気式有機性廃棄物エネルギー完全転換装置（K2-PEC※）」事業化への取組報告に続き、被災地の廃棄物処理へのK2-PECの活用等を緊急提案していくことや今後の研究会の進め方等について、熱心な意見交換を行いました。

※K2-PEC・・・K（けいはんな）K（京都）Perfect Energy Converter

約800℃の過熱水蒸気を利用し、燃焼させずに有機性廃棄物を処理する装置をコア技術とし、本装置から生成される乾留ガス等を活用した発電システム

東日本大震災復旧・復興支援事業（緊急提案）

けいはんな環境・エネルギー研究会

StepⅠ

復旧への提案→けいはんな有機性廃棄物エネルギー完全転換装置(K2-PEC)の活用

【意義】

- ①非燃焼方式のため猛毒のダイオキシンの発生しない**無公害の処理装置**であること。
- ②一般家庭ごみのほか、廃建材、木くず、プラスチック、廃船（RPF）、ビニールハウスの残渣、塩分の高い水産加工品、ト口箱に至るまで、**広範な処理が可能**であること。
- ③処理対象の廃棄物からエネルギー（電気、熱）を効率的に回収することができることから地域活動の源である**エネルギー確保に役立てることができる**こと。
- ④在来型の廃棄物処理装置に比べ、小型で安価に製造でき、かつ、可搬性のものであることから**地域の処理需要に応じた対応が可能**であること。
- ⑤今後、エネルギー自立（自律）度の高い街づくりを進めるに当たって、その中心施設として位置付けることができ、**復興への道筋を明確にできる**こと。

StepⅡ

復興への提案→エネルギー自立（自律）度の高い街づくりへの“けいはんなモデル”の提案

太陽光発電等の自然エネルギーとともに、次世代ゴミ発電装置としての過熱水蒸気式ガス化装置等をも視野に置き、多様なエネルギー変換技術を活用したエネルギーの地産地消の「けいはんなモデル」を提案すること。

京都力結集エコ住宅「京エコハウス」グランドオープン!

エコ産業の創出を図るプラットフォームとして、京都府、経済団体、企業等で構成する京都産業エコ推進機構（代表 服部重彦（社）京都工業会会長）は、6月2日、京田辺市けいはんな同志社山手に、京都の豊かな地域資源と研究開発の成果を結集させた環境型の木造モデル住宅「京エコハウス」をオープンしました。

廃材やおがくず等木質バイオマスの燻煙により乾燥させた「燻煙熱処理木材」や自然素材を用いたボード、植物由来原料を用いた「京唐紙」、無機材料を使った舗装土「京たたき」など、伝統を守りつつ環境負荷の低い素材を使用。また、独自に開発した、夏の蒸し暑さ・冬の厳しい寒さをしのぐ「壁体内通気工法」、自然の光や風の利用を意識した平面・断面の構造など、環境にやさしい昔ながらの京町家暮らしの考え方を採用。さらには、太陽光、風力発電装置、蓄電池、電気自動車の充電スタンドなど最新のエネルギー関連設備を備えた木造住宅です。

京都の伝統産業から先端産業までの知恵と技術を結集し、低炭素社会実現へのライフスタイルを実体験いただけるモデルハウスです。今後、京都大学の松山隆司教授が主査を務めるエネルギー情報化WGによるエネルギーマネジメントの実証も予定しています。



※住宅の見学について 入場無料（事前申込不要）

営業：10:00～17:00 水曜・木曜 定休

場所：京田辺市同志社山手2-3-1 （車のナビゲーションなどでは、下記住所で検索してください。）

（旧表記）京田辺市三山木綾ヶ谷8-1

交通：JR・近鉄三山木駅より奈良交通バス51系統 同志社山手中央下車すぐ

電話：0774-63-5858

随時、ホームページで体験イベントのご案内を行いますので、是非ご参加ください。URL: <http://www.kyo-ecohouse.jp/>

「京都府立大学精華キャンパス産学公連携研究拠点施設」 開所 平成22年度地域企業立地促進等共用施設整備費補助金(近畿経済産業局)

旧「花空間けいはんな」の跡地を活用して整備した「京都府立大学精華キャンパス産学公連携研究拠点施設」が4月27日に開所しました。産学公連携の新たな拠点として、植物工場やダチョウの卵を使った抗体研究など、「植物、環境、医薬等」に係る共同研究や、大学発ベンチャー、新産業の創出・企業集積などに取り組みます。

<整備施設>

- 共同研究室（インキュベーションラボ）・共同実験室
- 完全人工光型養液栽培施設（植物工場プラント実験・実証施設）
- ガラス温室

<実施事業>

- 共同研究室等への中小・ベンチャー企業等入居、集積
- 植物工場プロジェクト、ダチョウ抗体プロジェクトなど産学共同研究による技術支援・育成支援の実施
- 施設開放（「芝生広場」「展望台」等を府民に開放）



植物系実験研究棟（植物工場）

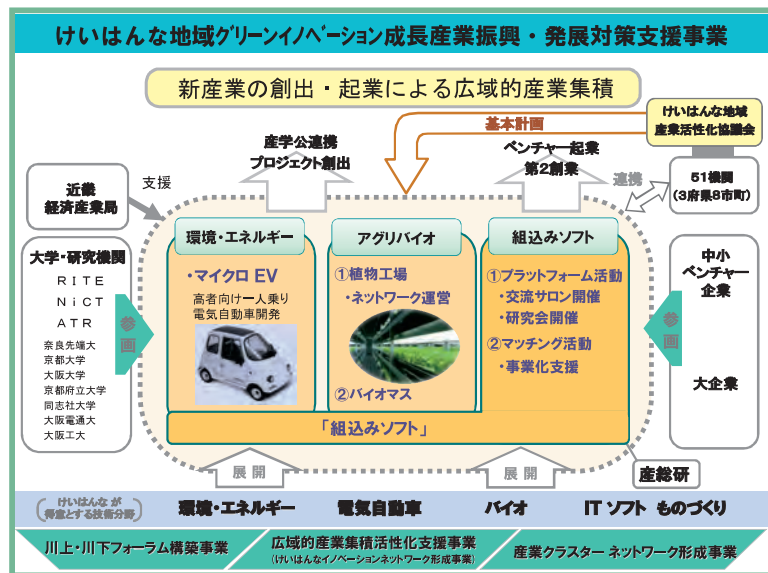


動物系実験研究棟



けいはんな地域グリーンイノベーション 成長産業振興・発展対策支援事業について

本事業は、けいはんな学研都市の強みを活かし、企業立地促進法に基づく経済産業省補助金を活用して、「環境・エネルギー産業成長発展支援事業」、「アグリバイオ産業ネットワーク形成推進事業」、「組み込みソフト産業成長発展推進事業」を推進することにより、関西地域の産業活性化を図る活動を実施しています。



環境・エネルギー産業成長発展支援事業

けいはんな地域で、次世代自動車の1つであるマイクロEVに係る新しい企業が立地し、新たな産業集積を形成することを目指して、3つの活動を展開していきます。

プラットフォームの構築とその運営

けいはんな学研都市でマイクロEV分野の取り組みを拡充するため、学研都市に立地する優れた基盤技術を有する企業、川上・川下ネットワーク構築事業に参画した国際競争力を有する企業、および産学公や関係自治体等の多様な主体が参画し、司令塔機能を担うプラットフォームとして、「けいはんなEV開発協議会」を設置し、活動を進めていきます。

マイクロEV開発研究会活動

起伏の多いけいはんな学研都市の地形的特徴を考慮するとともに、近距離移動体あるいは高齢化社会に対応できる安心・安全なコムータの開発を目指し、地域の研究機関や立地企業の参画を得て研究会を設置運営し、開発項目の明確化や開発課題の明確化に取り組んでいきます。

マッチングコーディネート活動の推進

- ①学研都市立地企業や川上・川下ネットワーク構築事業に参画した企業がマイクロEV開発に向けてコンソーシアムを形成し、プロジェクトを創出する活動を展開します。
- ②「高齢者用1人乗り電気自動車」の開発プロジェクトにおいて、新しいビジネスモデルの創出する活動を展開します。
- ③中小企業が持つ優れた技術を集約し、自動車部品や部材の軽量化、省エネ化、および高齢者への対応に関する事業展開を支援する活動を行います。



アグリバイオ産業ネットワーク形成推進事業

本事業では、電気電子機器・車・産業機械等の工業製品に続く国際競争力を持ちうる産業として、農商工連携による新しい産業である「植物工場」や「バイオマス」の2分野の支援活動を展開して行きます。

「植物工場」

昨年度に設立した、広域的組織「けいはんな植物工場ネットワーク」を核に、研究会活動やマッチング活動を展開し、農林関連産業の集積・活性化および採算性の高い植物工場ビジネスモデルの構築を目指し、下記の活動を展開します。

- ・研究会やネットワーク会議の開催による情報発信と情報交換の促進
- ・ネットワーク内におけるテーマ別ワーキンググループ活動
- ・産学公連携プロジェクトの創出支援や競争的資金の獲得支援



※けいはんな植物工場ネットワーク入会については下記URLをご覧ください。
<http://keihanna.biz/eco/pdf/ecologyNW.pdf>

「バイオマス」

バイオマス関連の地域産業集積や新産業創出の戦略的基盤づくりを目標として、産学公ネットワークの形成や研究会活動などを展開します。

- ・研究会テーマ（案）
- ①セルロース系素材由来バイオマス燃料の合成
- ②有機系廃棄物のエネルギー転換活用等

組込みソフト産業成長発展推進事業

けいはんな地域の大学、研究機関、研究開発型企業、ベンチャー企業が集積している強みを活かし、けいはんな地域を組込みソフトの産業の一大集積地とすることで、日本の組込みソフト産業の成長と発展に貢献していきます。

組込みソフトけいはんなプラットフォーム作り活動

川上系企業・川下系企業・情報産業団体・けいはんな地域研究機関・研究所・大学等を対象に交流サロン活動を通して組込みソフト関連ネットワークを形成します。

また、開発力強化・品質力強化に繋げることを目的として、組込みソフトにおける最先端技術を有している地域内の大学、企業の技術・ノウハウを活かし、それぞれの専門分野における最先端の技術を有する方々を中心に、下記研究会活動を実施します。

- ①個別必要課題を取り上げ開発力強化、支援するため、専門家を核に最新技術研究会を開催。
- ②個別品質課題を取り上げソフトウェアテストの手法・国際規格に基づく品質保証等、品質力強化、支援のため専門家を核に研究会を開催。



佐紀古墳群

京都・大阪・奈良の3府県にまたがるけいはんな学研都市には、里山や田園などの豊かな自然とともに、多くの歴史的・文化的遺産が残されています。



佐紀古墳群（西から）



コナベ古墳（手前）とウワナベ古墳（奥）

奈良県と京都府の境界に位置する奈良山丘陵の南端に佐紀古墳群があります。東西2.5kmの範囲に全長200mを超える大型の前方後円墳8基のほか、全長60～127mの中型の前方後円墳13基、多数の円墳・方墳が点在しており、近畿地方の代表的な古墳群のひとつとして知られています。

佐紀古墳群は古墳時代前期後半（4世紀中頃）から中期後半（5世紀中頃）にかけてつくられた大古墳群で、奈良盆地東南部の大和・柳本古墳群や大阪府の古市古墳群・百舌鳥古墳群とともに大和政権（畿内政権）の発展過程を考える上できわめて重要な遺跡です。奈良盆地東南部でつくられはじめた箸墓古墳に代表される大型前方後円墳は、初期の大和政権の誕生ともかわる大王墓と考えられますが、それらに続いて奈良盆地北端につくられたのが佐紀古墳群です。その後、古墳時代中期には大阪平野にある巨大前方後円墳に大王たちの墓が移っていったとみる考え方、佐紀古墳群は大王の后あるいは后をだした有力豪族の和邇氏の墓だとみる考え方があります。

佐紀古墳群は、大型前方後円墳が先につくら

れた西群と後からつくられた東群とに大きく分けることができます。最も古いと考えられるのは、日葉酢媛命陵に現在なっている佐紀陵山古墳です。奈良山丘陵の先端を利用した前方後円墳（全長約203m）で、盾形の周濠がめぐっています。兵庫県最大の古墳である五色塚古墳（神戸市）などとほぼ同形です。大正5（1916）年に盗掘され、後円部の竪穴式石槨から銅鏡3面と多くの石製品が出土しました。写実的につくられた初期のきぬがさ形埴輪や盾形埴輪の出土も知られています。

西側の成務天皇陵になっている佐紀石塚山古墳（前方後円墳・全長約204m）は、佐紀陵山古墳の濠を避けて東側の濠がつけられています。また、江戸時代の盗掘記録から長持形石棺を納めていることがわかっており、石棺のない佐紀陵山古墳よりも新しいことがわかります。この古墳の北側には方墳が3基あって、大型古墳に付属する陪塚として注目されます。佐紀石塚山古墳の南側には、奈良時代の称徳天皇陵になっている佐紀高塚古墳（前方後円墳・全長約127m）がありますが、本当の称徳天皇陵は西大寺の北

側につくられたようで、この古墳とは無関係と
思われます。

佐紀石塚山古墳の北約500mには神功皇后陵に
なっている佐紀古墳群最大の五社神古墳（前方
後円墳・全長約267m）があります。墳丘の西側
に造り出しがあり、現在の周濠や外堤は後世に
付け加えられたものであることが最近わかりま
した。佐紀古墳群で最も古いとされていましたが、
古墳時代中期初めに位置づける考え方も出てき
ています。

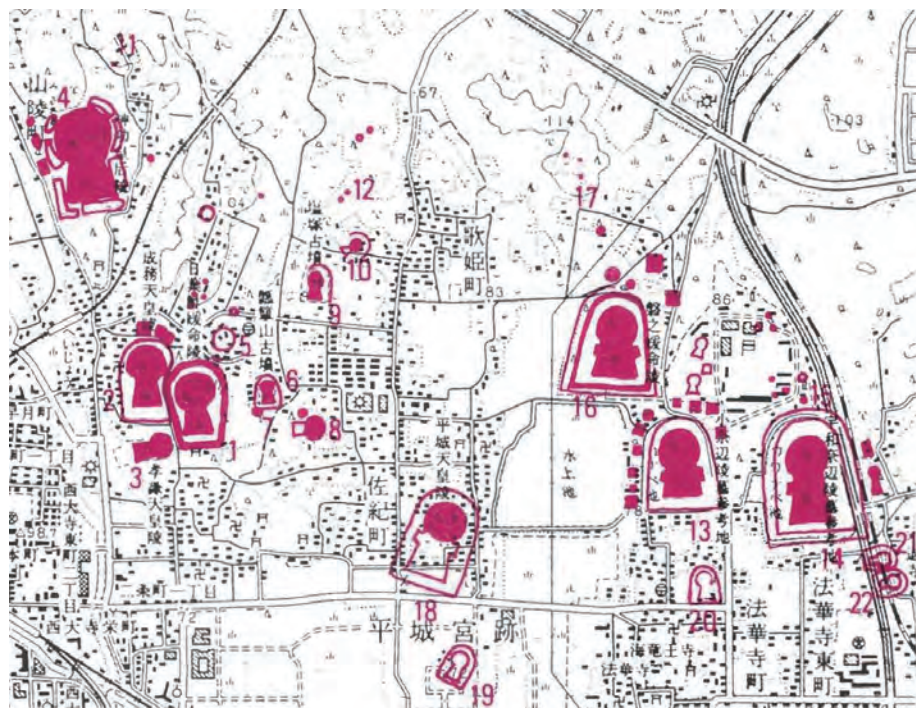
佐紀陵山古墳の東北に接して大型円墳のマエ
塚古墳（直径50m）がありました。1965年に発
掘調査され、粘土槨から銅鏡、石製合子、多数
の刀剣、工具類が出土しましたが、現在は宅地
となっていてみることはできません。東側の小
さな谷を隔てて瓢箪山古墳と丸山古墳があります。
瓢箪山古墳（前方後円墳・全長96m）は国史跡
として整備され公園となっています。周濠は南
西に丸山古墳があるため、そこで途切れています。
丸山古墳からは大正2（1913）年に銅鏡14面が出
土しています。瓢箪山古墳の東側には南北方向
の道路に沿って、松林苑の西側築地塀跡が残っ
ています。松林苑は平城宮の北側に設けられた
天皇が宴や騎射などを行うための園林で、塩塚
古墳（前方後円墳・全長105m）の前方部が低く
平らな形をしているのも、松林苑の園亭などを

設けるために奈良時代に削りとったのではない
かと考えられます。

水上池の東側にある3基の大型前方後円墳（コ
ナベ古墳・ウワナベ古墳・ヒシアゲ古墳）は2
重に周濠をめぐるせ、その周囲を取り巻くよう
に陪塚を配置した古墳時代中期を代表する大古
墳です。コナベ古墳・ウワナベ古墳・ヒシアゲ
古墳の順でつくられました。くびれ部の両側に
造り出しがあり、非常に整った姿を残すコナベ
古墳は、明治時代にイギリス人ウィリアム・ゴ
ーランドによって海外にまで紹介されています。
ウワナベ古墳の陪塚である大和6号墳からは鉄
器の原材料となる鉄板（鉄鋌）が872枚も出土し
ており、古墳時代に鉄の確保がいかに重要であ
ったかを示しています。

平城宮跡の北に接して後円部だけが残る市庭
古墳、第2次大極殿の下から発見された神明野
古墳などもあり、奈良時代に姿を消した古墳も
多くあるものとみられます。

大型前方後円墳は天皇陵・皇后陵・陵墓参考
地として管理されているため、中へ立ち入るこ
とはできません。水をたたえた濠をめぐるせ、
うっそうとした木々が生い茂る小山のような大
古墳は、古代のメッセージを秘めて佐紀の地に
鎮まっています。



- | | |
|-----------|------------|
| 1. 佐紀陵山古墳 | 2. 佐紀石塚山古墳 |
| 3. 佐紀高塚古墳 | 4. 五社神古墳 |
| 5. マエ塚古墳 | 6. 瓢箪山古墳 |
| 7. 丸山古墳 | 8. 猫塚古墳 |
| 9. 塩塚古墳 | 10. オセ山古墳 |
| 11. 狐塚横穴群 | 12. 赤井谷横穴群 |
| 13. コナベ古墳 | 14. ウワナベ古墳 |
| 15. 大和6号墳 | 16. ヒシアゲ古墳 |
| 17. 鷹ヶ峯古墳 | 18. 市庭古墳 |
| 19. 神明野古墳 | 20. 木取山古墳 |
| 21. 平塚1号墳 | 22. 平塚2号墳 |

けいはんなプラザイベントカレンダー

一般の皆様へ

7月 けいはんな映画劇場 「しあわせの雨傘」 ベネチア国際映画祭コンペティション部門出品作品

ブルジョア主婦のスザンヌが、家事も仕事もしなくていい“お飾りの妻”を華麗に返上。
彼女が人生に咲かせた、大輪のひと花とは——？

日時：7月8日(金) 10:30～ 14:00～ 19:00～
7月9日(土)～7月10日(日) 10:30～ 13:00～ 15:30～

場所：けいはんなプラザ 京都府立けいはんな「メインホール」

料 金：一般／1,000円 小・中学生、シニア(60歳以上)、けいはんなプラザ友の会／700円

問合せ：(株)けいはんな コンベンション事業部 TEL:0774-95-5115

<http://www.keihanna-plaza.co.jp>



7月 2011けいはんなサイクルレース

日時：7月18日(祝月) 8:00～開会式

けいはんなプラザ日時計前を出発、終点とし、学研都市のシンボルロード
精華大通りを中心に、学研施設の周囲を回る個人ロードレース。

問合せ：京都府自転車競技連盟 TEL:075-933-4173

7月 体感!国文祭 けいはんな学研都市スペシャル『科学と宇宙の出会い』
特別展示:～はやぶさ生還、あの星空の向こうに奇跡が起こる～

科学と文化を大切にまちづくりを進めるけいはんな学研都市ならではの取組として、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力のもと、「はやぶさ」を中心とした最先端の宇宙航空科学技術とけいはんな学研都市の世界最先端の研究成果等をPRするイベントを国民文化祭・京都2011のプレイベントとして開催します。

日時：7月29日(金)～8月1日(月)

場所：けいはんなプラザ イベントホール 参加費無料、10:00～17:00(最終日は15:00まで)

内容：川口 淳一郎氏 講演(7月31日(日) 14:00～15:30、

JAXAシンポジウム(7月30日(土) 13:30～16:00、

学研都市の研究機関による世界最先端の研究成果の発表(ATR、NICT)

ロボットステージ、JAXAコスミックカレッジ 等

問合せ：京都府文化学術研究都市推進室 TEL:075-414-5195

7月 第3回けいはんな「赤ちゃんにやさしい都市づくり」フォーラム
“赤ちゃんといっしょにでかけよう!”

無限の可能性を秘めた赤ちゃんの発達や行動を解明する研究がけいはんな学研都市で進められています。

最新の「赤ちゃん研究」に基づき、健やかな育児を応援します。

日時：7月23日(土) 11:00～ 参加無料、メインホールは定員1000名(事前申込制)

場所：けいはんなプラザ 京都府立けいはんな「メインホール」ほか

問合せ：京都府文化学術研究都市推進室 TEL:075-414-5195



7月 劇団四季ファミリーミュージカル「はだかの王様」

日時：7月24日(日) 14:30開場／15:00開演

場所：けいはんなプラザ 京都府立けいはんなホール「メインホール」

料 金：全席指定・税込 前売：一般／4,800円、けいはんなプラザ友の会／4,600円、当日：5,500円
3歳以上有料(2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞に限り無料)。

ただし、お席が必要な場合は有料)

チケットお取り扱い／問合せ：けいはんなプラザ3F (株)けいはんな事務所

TEL:0774-95-5115(平日10:00～17:30)



撮影：阿部章仁

8月 スーパーサプライズ 国立中国雑技団特別公演

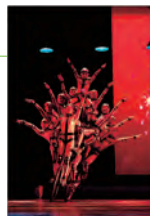
日時：8月7日(日) 13:30開場／14:00開演

場所：けいはんなプラザ 京都府立けいはんな「メインホール」

料 金：全席指定・税込¥3,500 ※3歳以上はチケットが必要

チケットお取り扱い／問合せ：けいはんなプラザ3F (株)けいはんな事務所

TEL:0774-95-5115(平日10:00～17:30)



一般の皆様へ

8月 けいはんな映画劇場「英国王のスピーチ」

アカデミー賞最優秀作品賞ほか主要部門独占最多4冠受賞 各国映画賞63冠受賞

英国史上、もっとも内気な国王ジョージ6世。バッキンガム宮殿に隠された、感動の実話。

日時：8月19日(金) 10:30～ 14:00～ 19:00～

8月20日(土)～8月21日(日) 10:30～ 13:15～ 16:00～

場所：けいはんなプラザ 京都府立けいはんな「メインホール」

料 金：一般／1,000円 小・中学生、シニア(60歳以上)、けいはんなプラザ友の会／700円

問合せ：(株)けいはんな コンベンション事業部 TEL.0774-95-5115

<http://www.keihanna-plaza.co.jp>8月 けいはんなプラザ・プチコンサート 「親子で聴きたい!プチコンサートスペシャル
～宮本あ子・後藤ゆり子マリンバコンサート～」

日時：8月3日(水) 12:15～13:00

場所：けいはんなプラザ・アトリウムロビー

入場料：無料

※けいはんなプラザ・プチコンサートは、毎週水曜日12:15～けいはんなプラザ・アトリウムロビーで開催しています。

問合せ：けいはんなプラザ・プチコンサート実行委員会 TEL.0774-95-5105



9月 南こうせつコンサートツアー2011 昔のキーで歌ってます!!

日時：9月18日(日) 16:30開場／17:00開演

場所：けいはんなプラザ 京都府立けいはんな「メインホール」

料 金：全席指定・税込／6,000円 ※未就学児入場不可

チケットお取り扱い／問合せ：けいはんなプラザ3F (株)けいはんな事務所

TEL:0774-95-5115(平日10:00～17:30)



9月 けいはんなふれあいコンサート

親子で楽しめるクラシックコンサートの定番「けいはんなふれあいコンサート」が、今年も学研都市精華町に帰ってきます。京都市交響楽団の壮大な生演奏あり、ロビーイベントあり、さまざまな企画が盛りだくさん。ご家族揃って、お楽しみください。

日時：9月19日(月・祝) 14:00開演(13:00開場)

※開場から開演までの間ロビーイベントを行います。

場所：けいはんなプラザ 京都府立けいはんな「メインホール」

※演奏曲目やチケット販売情報などについては、後日、精華町ホームページに掲載。

<http://www.town.seika.kyoto.jp/>

問合せ：けいはんなふれあいコンサート実行委員会事務局(精華町総務部企画調整課)

TEL:0774-95-1900



企業の皆様へ

7月 第6回けいはんなビジネスメッセ

けいはんな学研都市の企業・研究機関・大学などが新製品、新技術を紹介するビジネスマッチング展

日時：7月21日(木) 10:00～17:00

場所：けいはんなプラザ イベントホール他 参加費無料

問合せ：けいはんなビジネスメッセ事務局 TEL:0774-98-2230

<http://keihanna.biz>

7月 特別フォーラム「植物工場一働き出した関西2大拠点」

今年4月、関西に植物工場の2大拠点、大阪府立大学中百舌鳥キャンパスの植物工場研究センターと京都府立大学精華キャンパスが、相次いでオープンしました。それぞれの先端技術を紹介し、参加企業との交流によるビジネスマッチングの機会を提供します。

日時：7月28日(木) 13:30～17:30 (終了後ビジネス交流会 17:30～18:30)

場所：関西経済連合会 29階 会議室 (中之島センタービル)

問合せ：(財)関西文化学術研究都市推進機構 大阪オフィス TEL:06-6441-9213

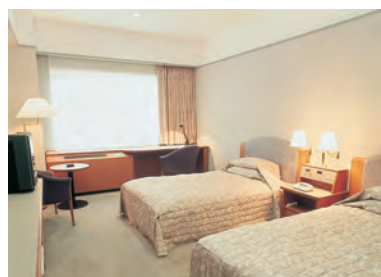
けいはんなプラザホテル

関西文化学術研究都市の中核施設として、文化・学術・研究および新産業の交流・発展の一翼を担う「けいはんなプラザホテル」。閑静な住宅地と最先端の研究施設、豊かな自然が融合した京阪奈丘陵に位置する当ホテルは、奈良、京都、大阪へのアクセスが至便で、ご宿泊の方は駐車場も無料。たくさんのお客様にご愛顧いただいております。

お部屋はシングル、ツイン、ダブルからスイートルームまで全68室。「居室がとてもし広い」「読み書きのための作業スペースも他のホテルに比べて広く使いやすい。」といった声もよく頂きます。

7月20日～8月31日までは、近隣にお住まいのお客様が、お身内の帰省等にご利用頂けるサマープラン(1室2名様10,000円)もご用意しております。スタッフ一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

- 【住所】〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7
- 【電話】0774-95-0101 【FAX】0774-95-0102
- 【交通】近鉄学研奈良登美ヶ丘からバス15分、「けいはんなプラザ」下車すぐ。
近鉄新祝園、JR祝園からバス10分、「ATR」下車すぐ。
- 【URL】<http://hotel.keihanna-plaza.co.jp/>
- 【プラン】サマープラン/料金1室2名室料10,000円/室料・税金・サービス料込み
精華町、木津川市、京田辺市、奈良市にお住まいの方またはそのお身内の方を対象としたプランです。
(客室稼働により、お断りする場合がございます。予めご了承下さい。)



【けいはんなtwitter】

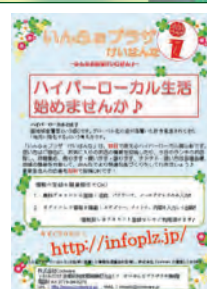
けいはんなおよび関西の、新事業、ベンチャー、産学連携に関する情報を随時Tweetします。相互フォロー歓迎！
<http://twitter.com/keihannabiz>

けいはんなのハッシュタグは#keihannaです。けいはんなに関するtweetをされる際に、ぜひご利用をお願いします。

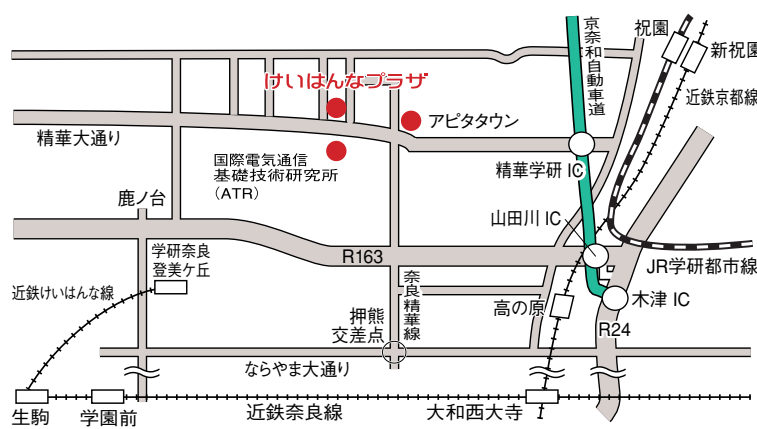


編集後記

今回の取材で、同志社国際学院校長の大迫先生は、「国際社会に通用する人材が輩出するようになれば、必ずこの地域は変わる。けいはんな地域が世界に通じる街となるよう、教育の場からも働きかけていきたい」、と情熱を込めて、インタビューに答えて下さいました。また、先日、けいはんな学研都市地域に密着した広告サイト「いんぷおプラザ けいはんな」ベータ版が立ち上がりしました。
(<http://www.infoplz.jp>) サイトの管理者は、けいはんなプラザラボ棟の入居企業、(株)Coolwareの古城戸代表。「とにかく何か困った時には『いんぷおプラザ』見てみよう！と思ってもらえるサイトになるよう、どんどん地域密着型の情報を集めていきます！」と、かゆいところに手が届く、サイトも誕生しました。
けいはんな学研都市は、こうした、「この地域を良くしたい」という人々の思いや情熱に支えられています。この思いの強さを地域の発展に繋げたい、と心から感じています。(知)



(財) 関西文化学術研究都市推進機構



〒619-0237
けいはんな学研都市(精華町光台1丁目7) けいはんなプラザ・ラボ棟3階
TEL: 0774-95-5105 FAX: 0774-95-5104

大阪オフィス



〒530-6691
大阪市北区中之島6丁目2番27号
中之島センタービル 30F (関西経済連合会内)
TEL: 06-6441-9213 FAX: 06-6441-9347

URL <http://kri-p.jp>